

平成31年3月22日

「いじめ」や「暴力」のない学校をめざして

お子さんといっしょにお読みください

大阪市内市岡小学校 校長 中谷 和博

最近いろいろな学校でよくある光景

体育の時間、やわらかいスポンジボールでサッカーの練習をしています。Aさんが蹴ったボールがBさんの背中にボンと当たりました。すかさず「ごめん」とあやまるAさん。ところがBさんは、Aさんを蹴り始めます。「何してるの、やめなさい」と先生が止めに入り、「Aさん、ちゃんとあやまってたやんか」と言ったところ、「だって、痛かったから」と言う返事。「えっ？スポンジボールやでえ、そんなに痛かったの？」と問い返すと、しばらく黙った後、「今は冗談でやった」と言葉が変わりました。でもAさんは「急に蹴られてこわかった」と言っています。



休み時間に、学級みんなで「鬼ごっこ」をしています。タッチされて鬼になり、他の子を追いかけるCさん。追いかけて息もたえだえのDさんは、逃げるのをあきらめました。CさんはDさんの背中にタッチと思ったら、Dさんの背中を「バチーン」と強く叩きます。「痛っ！」と涙目のDさん。

「次の休み時間に、いっしょに遊ぼう」とみんなで約束。Eさんは、他の用事があったのを忘れていました。休み時間、用事を思い出したEさんはみんなに言わずに用事を済ませます。しかしEさんがいないことに腹をたてたFさんやGさんに激しく責められてしまい、腕や肩を叩かれました。



友だちの手や体が触れただけで、がまんできずに相手を叩いたり蹴ったりする子。いらいらすると誰彼構わず、「ムカツク」「死ね」と暴言をまき散らす子。自分のことを悪く言われていると感じた瞬間に、暴力的な言葉や行為で、相手を責める子、

このように、自分の心の中の苛立ちやモヤモヤをうまく言葉にできず、感情がいきなり行為になって表れる子が、低学年から高学年まで増えてきています。一方で、休み時間に自分で転んで、小さな小さな擦り傷を作っただけ、少し赤くなっただけでも、授業が始まってから保健室に行く子も多数います。担任の先生に「大丈夫やで」と言われても、その子はまず納得はしません。保健室で消毒し、絆創膏を貼ってもらうまで学習に参加できません。

「自分」の体や心の「痛み」と、「他者」の体や心の「痛み」に対する感覚がアンバランスな子どもが増えていて、いろいろな学校で、今、学習以外のこのようなトラブルへの対応に、担任だけでなく、多くの教職員が追われています。



港警察署少年係小野係長のお話

港区では、港警察署、水上警察署、難波少年サポートセンター、こども相談センター、区役所、教育委員会、少年補導補助員、小学校、中学校が連携して、少年非行や犯罪についての連絡会を開催し、少年犯罪や非行の撲滅をめざしています。

本校では、先日、4月より最高学年となる現在の5年生を対象に、港警察署少年係長小野雄二さんにおこしいただき、少年犯罪についてのお話をさせていただきました。



警察は、町の治安を守り、犯罪を犯した人を捕まえる役所です。この市岡小学校は創立100年をこえる素晴らしい伝統のある学校です。みんなはその代表である6年生になります。だから今の間に、やってはいけないことを知っておきましょう。そしてみんなのお手本になってください。

(DVDを視聴しました)



ではもう一度振り返っておきましょう。

○ 万引き

- 万引きは泥棒です。友だちが万引きしたものをもらうのもだめです。万引きを手伝うのもだめです。万引きをしたら友だちから信頼されなくなります。こども相談センターや警察署で調べられます。そうになったら一番困るのはあなたです。

- とめてある自転車を持っていったら、泥棒です。
- 財布を拾って、中のお金を自分のものにしてはいけません。落とし物を拾ったら、必ず交番や警察署に届けましょう。中身が持ち主に戻ったら、持ち主から大変感謝されます。

○ 物を壊したり、落書きをしたりするのも犯罪です。

- 他の人を殴ったり、蹴ったりする … 14歳以上は暴行罪になります
- 相手にけがをさせたら … 14歳以上は傷害罪になります

- 暴力は犯罪です。
- ボクシングや空手、柔道などは、正々堂々ルールの中で行われるものです。生活の中で人を殴ることや傷つけることは絶対にだめです。

○ いじめは絶対アカン！

- みんな「いじめられたくない」。されたくないことをしてはダメです。また、見て見ぬふりはダメです。みんなで「やめよう」と言ってあげよう。「お前、チクったやろう」なんて言うのは、卑劣なことです。卑怯きわまりないことです。

- よくないことをしようとする子がいたら、「そんなんアカンやん」と言う子がどんどん増えていってほしい。そんな市岡小学校になってほしいと願っています。

(裏面に続く)

いじめの現場に登場する子どものタイプ

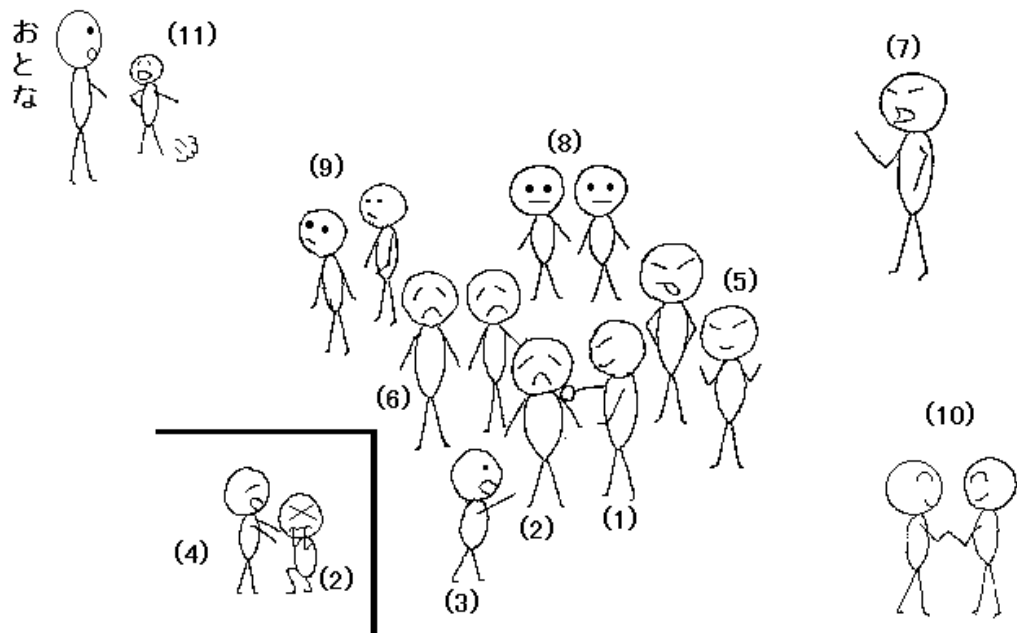
小野係長の話の後、校長が資料をもとにして、いじめの現場を解説しました。

【いじめに登場する人たち】

○ (1)～(11)はどんな人たちでしょうか？

○ さて、あなたは、どのタイプかな？

○ いじめをなくすには、どうすればよいのでしょうか？



ここに登場する人は、こんな人たちです。

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| (1) いじめている人 | (2) いじめられている人 |
| (3) いじめを止めようとしている人 | (4) いじめられた人をなぐさめている人 |
| (5) いじめを喜んで見ている人 | (6) いじめを悲しんで見ている人 |
| (7) いじめはよくないと言っている人 | (8) いじめを見て何も思わない人 |
| (9) いじめを見て見ぬふりをする人 | (10) いじめを知らない人 |
| (11) いじめを止めてもらおうとおとなに言いに行く人 | |

子どもたちに、この中でどんな人がよくて、どんな人がよくないのか聞いてみました。すると、(1)・(2)以外では、次のような意見が出されました。

- (3)：いいと思う。
- (4)：いいと思うが、後でなぐさめるより、(3)のように止める人になった方がよい。
- (5)：よくない。いじめているのといっしょだ。

- (6)：悲しい気持ちで見ているなら、やっぱりいじめをとめる(3)の人ようになってほしいと思う。
- (7)：言うだけではだめ。いじめを止める行動をとるべきだと思う。
- (8)：なぜ、何も思わないんだろう。こんな人が「いじめ」を許している。
- (9)：見て見ぬふりは絶対だめ。こんな人が「いじめ」を許している。
- (10)：いじめを知らないのなら仕方がない、いや、学級でいじめがあることを知らないのはおかしい。
- (11)：いじめを止めるために、おとなに助けを求めるのは正しいことだと思う。

このようなことから、いじめをなくしていくためには、(3)や(11)のように行動することが大切だとわかりました。続いて、「じゃあ、あなたはどのタイプかな？あてはまるものに何回でも手をあげてみよう」という質問がありました。みんなそれぞれ考えて手を挙げていましたが、中には、どれにも手をあげられない人もいました。

市岡小学校では、今後も関係諸機関や専門家とも連携しながら、単に「いじめ」がないだけではなく、相手の気持ちや立場を考え理解し、一人一人がよいつながりを作っていけるような取り組みを行っていきたいと考えています。

さあ春休み、子どもたちの生活をしっかり見守ってください

いよいよ春休み、進級を控え、実は子どもたちにとって、春の陽気も重なって、最も気持ちがゆるみがちです。

校区内にはいくつかの児童公園がありますが、どの公園でも「ボール」を使った遊びを行うことはできません。また、大きな集合住宅の下には、一般的に「公開空地」と呼ばれる、歩行者が日常自由に通行又は利用できる、広く一般に開放された空地の部分がありますが、どこの公開空地も安全上の観点から、ボール遊びは許可されていません。保護者のみなさまには、休み中、お子さんが「どこで」「どんな遊び」をしているのかをしっかりと把握していただき、ご指導いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、1年間、みなさまからいただいたご支援とご協力に心より感謝いたします。

